

息子や孫をかたって

「新幹線でお金を持ってきて」は詐欺!!



北陸新幹線の開業による、首都圏への利便性が向上しましたが、首都圏まで被害者に現金を持参させる上京型(県外誘導型)オレオレ詐欺の被害が発生していますのでご注意ください。

上京型オレオレ詐欺の事例

11月8日、Aさん(70歳代・女性)宅に、息子を名乗る男から電話がかかり、「風邪を引いて喉が痛い。」等と言われた。

翌日11月9日、Aさん宅に再び男から電話がかかり、「会社のお金を使い込んで500万円が必要になった。用意してくれないか。」等と言われたため、Aさんは、男の指示により、現金500万円を用意し、新幹線で埼玉県大宮駅を経由して、さいたま市内の大和田駅へ向かった。

Aさんが大和田駅に着くと、男から電話で「自分には行けないから、会計士の息子が代わりにお金の受け取りに行く。」等と言われ、会計士の息子を名乗る男に500万円を手渡した。

Aさんが帰宅したところ、再び息子の名乗る男から電話で「もう500万円必要になった。」等と言われたため、翌日、再び大和田駅へ向かい、前日と同じ男に500万円を手渡した。

Aさんが帰宅したところ、「もう1,000万円用意してほしい。」等と言われたことから不審に思い、家族に相談し、本当の息子に確認したことにより、被害に気付いた。



だましの手口

● 息子だと信じさせる

息子と声が違うことを怪しまれないように、事前に「風邪を引いて喉が痛い」等と言って、声が違うことを不自然に思われないようにしたり、「電話番号が変わったから登録して」等と言って、後日犯人からかける電話を、本物の息子だと信じさせます。

● 至急お金が必要

「会社のお金を使い込んだ」「会社の小切手が入ったカバンをなくした」「株で失敗した」等トラブルが発生したことを口実にして、「〇時までには用意しないと・・・」などと言って至急お金が必要であることを持ちかけ、冷静に考える時間を取れないようにします。

● 代わりのお金を取りに行く

「自分は行けなくなったので、代わりの人を向かわせる」「上司の息子が行くので渡して」「会計士が取りに行く」等と言って、現金受け取り役のいわゆる「受け子」が現金を受け取りに来ます。

お金の話が出た場合は、行動する前に必ず家族に相談したり、本人確認をしましょう。

◎ 合言葉を使い、本人か確認しましょう。

◎ 「電話番号が変わった」「今自分の携帯電話が使えない」と言われても以前の電話番号に必ず掛け直して確認しましょう。